

学校だより

Nakijin Times

五月 (さつき)

令和 4 年 5 月 13 日 今帰仁小学校

2022 May Thirteenth(13th) Friday (金)

文責：校長 屋良 篤

Number 7

沖縄日本復帰から 50 年

1972年5月15日、沖縄がアメリカ統治下から復帰して明後日で50年を迎えます。

知っている人も多いと思いますが、1945年、日本は先の第二次世界大戦（太平洋戦争）で敗北し、沖縄は日本から切り離され、アメリカ合衆国の統治下とされました。それから1972年までの27年間は、日本政府からの戦争復興や政治経済の支援はなく沖縄には連合軍最高司令部（GHQ）が置かれ、アメリカ軍の占領統治時代が続きました。その間、沖縄県では、GHQにより琉球政府が設置されましたが、その自治権はかなり制限されていました。結局のところ、アメリカ政府は、琉球列島米国民政府として高等弁務官（現在の県知事に当たる）を置き、事実上の司法・立法・行政はアメリカの施政権下におかれました。そのため、通貨はドル、車は右、人は左、速度はマイルでした。今でも当時の名残がありますよ。何だかわかりますか？ それは、お店に売っている牛優パック。量の表示が946ml（ミリリットル）と書かれていますね。中途半端だと思いませんか。実はこれは、復帰する以前にパックをつくる機械が米国製でアメリカでは「ガロン」という単位を使っていたからです。1ガロンは3.784リットル。これじゃ飲み物のパックとしては大きすぎますね。その4分の1（クォーターガロン）が946mlなのです。その名残で現在も沖縄では946mlのパックが残っているのです。ちなみに本土では全て1000mlの表示ですよ。ちょっと話がそれましたが、沖縄にはこのような歴史があります。

最後に、沖縄は「ウチナーユーからヤマトゥヌユー、ヤマトゥヌユーからアメリカユー、アメリカユーからヤマトゥヌユー」と聞くことがよくありますが、他府県にはない独特のチャンプルー文化があります。先人たちの苦勞と努力があって今の私たちがいることに感謝し、沖縄を振り返るうえでの15日をむかえてほしいなあと思います。テレビでも復帰に関する番組が多くあると思いますので半世紀を迎えた今、沖縄の歴史を考えるきっかけとなればいいなあと思います。



車が右側通行の沖縄

琉球新報 R4.2.25



琉球新報 R4. 2. 16

復帰50年
72 沖縄 その時
琉球警察、米陸軍およそ400人が警備する中、輸送車に積載され日銀那覇支店へ陸送される540億円の現金=1972年5月2日、那覇軍港入り口

ドルから円に換えるため多額の現金を那覇に運ぶトラック

復帰50年
72 沖縄 その時
きょうから沖縄県
15日午前0時、沖縄県のスタートを告げるサイレンと汽笛が各地で一斉に鳴り響いた。道路の速度標識がマイルからキロへ、ドルから円へと新時代の化粧直しが始まった=1972年5月15日、那覇市の国際通り